



平成30年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社ユビテック 上場取引所 東
 コード番号 6662 URL http://www.ubiteq.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)荒木 克彦
 問合せ先責任者 (役職名)グループ管理部長 (氏名)手塚 佑介 (TEL)03(5447)6731
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第2四半期の連結業績(平成29年7月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	1,065	△8.1	56	△30.2	58	△18.7	75	40.2
29年6月期第2四半期	1,159	△10.0	81	—	71	—	53	—

(注) 包括利益 30年6月期第2四半期 75百万円(18.2%) 29年6月期第2四半期 64百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年6月期第2四半期	5	17	5	14
29年6月期第2四半期	3	74	3	73

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	3,592	—	3,195	—	—	87.7
29年6月期	3,597	—	3,177	—	—	86.1

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 3,151百万円 29年6月期 3,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
29年6月期	—	0 00	—	3 00	3 00	0 00
30年6月期	—	0 00	—	—	—	—
30年6月期(予想)	—	—	—	3 00	3 00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日~平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,306	4.6	123	13.2	109	11.3	88	21.0	6	07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料) 9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年6月期2Q	14,782,000株	29年6月期	14,742,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年6月期2Q	161,200株	29年6月期	161,200株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年6月期2Q	14,604,278株	29年6月期2Q	14,409,897株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 自己株式数については、ESOP信託が所有する当社株式 (30年6月期2Q : 161,200株、29年6月期 : 161,200株) を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の政治情勢や地政学的リスクの高まりによる政情不安などの懸念点は依然としてあるものの、企業収益や雇用情勢に改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは生産効率を改善する先進の工場IoTやドライバー及び工場従業員などを対象として、バイタルセンサーを使用した安全・衛生システムなど、IoT技術を駆使した製品の展開に注力してまいりました。平成29年11月には幕張メッセで開催された「第3回 IoT/M2M展」にホシデン㈱と共同出展し、ユビテックが提供する最新のIoTソリューションを紹介したほか、12月にはIoTソリューションの拡大を目的として「IoTイノベーション室」を新設するなど、オリックスグループとも連携しながらIoTを活用したサービスの強化に向けた取り組みや体制作りを積極的に行ってまいりました。

また、前連結会計年度に引き続き原価管理の徹底、業務の効率化、コスト削減などを行い、収益構造の改善に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,065百万円（前年同四半期比8.1%減少）、営業利益は56百万円（前年同四半期比30.2%減少）、経常利益は58百万円（前年同四半期比18.7%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は新株予約権戻入益28百万円を特別利益に計上したことにより、75百万円（前年同四半期比40.2%増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

IoT事業

IoT事業は、テレマティクス車載機の販売が減少したことにより、前年同四半期比で減収減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は311百万円（前年同四半期比15.2%減少）、セグメント利益は40百万円（前年同四半期比44.5%減少）となりました。

製造受託事業

製造受託事業は、主力製品である紙幣鑑別センサモジュールの販売が堅調に推移し、売上高、セグメント利益とも概ね前年同四半期並みを確保しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は475百万円（前年同四半期比3.2%増加）、セグメント利益は65百万円（前年同四半期比0.7%減少）となりました。

開発受託事業

開発受託事業は、子会社のユビテックソリューションズにおいて、第1四半期に引き続き開発案件の減少や顧客の内製化の影響があったことにより、前年同四半期比で減収減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は278百万円（前年同四半期比15.8%減少）、セグメント利益は30百万円（前年同四半期比33.2%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は3,592百万円となり、前連結会計年度末から4百万円減少しております。主な内容としましては、受取手形及び売掛金が75百万円、電子記録債権が13百万円、原材料及び貯蔵品が14百万円増加し、現金及び預金が76百万円、製品が32百万円減少しております。

(負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は397百万円となり、前連結会計年度末から22百万円減少しております。主な内容としましては、電子記録債務が40百万円増加し、未払金が15百万円、未払法人税等が14百万円減少しております。

(純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は3,195百万円となり、前連結会計年度末から18百万円増加しております。主な内容としましては、新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加21百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益75百万円の計上、剰余金の配当44百万円、新株予約権の減少35百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、以下の各キャッシュ・フロー状況とそれらの増減要因により、前連結会計年度末に比べて76百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末は2,080百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は27百万円(前年同四半期は262百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益86百万円、新株予約権戻入益28百万円、売上債権の増加89百万円、仕入債務の増加41百万円、法人税等の支払21百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は19百万円(前年同四半期は15百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出9百万円、無形固定資産の取得による支出13百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は29百万円(前年同四半期は12百万円の支出)となりました。これは新株予約権の行使による株式の発行による収入14百万円、配当金の支払43百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の連結業績予想につきましては、平成29年8月10日付の平成29年6月期決算短信で発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,756,840	2,680,813
受取手形及び売掛金	463,836	539,502
電子記録債権	—	13,549
有価証券	5,534	2,106
製品	93,315	60,624
仕掛品	14,179	19,423
原材料及び貯蔵品	53,230	67,414
繰延税金資産	3,271	1,485
その他	26,701	26,893
貸倒引当金	△408	△491
流動資産合計	3,416,501	3,411,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	62,857	62,857
減価償却累計額	△10,327	△12,462
建物及び構築物(純額)	52,529	50,395
工具、器具及び備品	184,737	184,745
減価償却累計額	△135,471	△142,184
工具、器具及び備品(純額)	49,265	42,560
有形固定資産合計	101,795	92,956
無形固定資産		
その他	22,175	33,106
無形固定資産合計	22,175	33,106
投資その他の資産		
繰延税金資産	5,509	5,527
その他	51,502	49,950
投資その他の資産合計	57,012	55,477
固定資産合計	180,982	181,540
資産合計	3,597,484	3,592,861

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	94,648	95,651
電子記録債務	110,592	150,964
未払金	35,091	19,456
未払法人税等	28,099	13,740
繰延税金負債	244	88
賞与引当金	2,662	2,475
その他	94,359	56,746
流動負債合計	365,698	339,123
固定負債		
株式給付引当金	25,637	29,396
退職給付に係る負債	28,526	28,526
固定負債合計	54,164	57,923
負債合計	419,862	397,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	928,831	939,597
資本剰余金	642,733	653,499
利益剰余金	1,585,063	1,616,413
自己株式	△56,676	△56,676
株主資本合計	3,099,952	3,152,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	546	199
為替換算調整勘定	△1,892	△1,841
その他の包括利益累計額合計	△1,345	△1,642
新株予約権	50,824	15,782
非支配株主持分	28,191	28,840
純資産合計	3,177,622	3,195,815
負債純資産合計	3,597,484	3,592,861

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
売上高	1,159,447	1,065,792
売上原価	905,981	855,115
売上総利益	253,465	210,676
販売費及び一般管理費	172,457	154,111
営業利益	81,008	56,565
営業外収益		
受取利息	202	196
為替差益	1,121	89
還付加算金	179	—
投資事業組合運用益	—	662
その他	536	976
営業外収益合計	2,039	1,925
営業外費用		
株式交付費	333	156
投資事業組合運用損	9,340	—
賃貸費用	1,510	—
その他	112	2
営業外費用合計	11,296	158
経常利益	71,751	58,332
特別利益		
新株予約権戻入益	—	28,270
特別利益合計	—	28,270
特別損失		
固定資産除却損	454	—
特別損失合計	454	—
税金等調整前四半期純利益	71,297	86,603
法人税、住民税及び事業税	19,638	8,612
法人税等調整額	△3,649	1,767
法人税等合計	15,989	10,380
四半期純利益	55,308	76,222
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,402	646
親会社株主に帰属する四半期純利益	53,906	75,575

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	55,308	76,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,115	△347
為替換算調整勘定	△1,161	53
その他の包括利益合計	8,954	△293
四半期包括利益	64,262	75,928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,917	75,279
非支配株主に係る四半期包括利益	1,344	649

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	71,297	86,603
減価償却費	12,737	15,419
株式報酬費用	116	41
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	213	82
賞与引当金の増減額 (△は減少)	656	△187
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△168	—
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△210	3,758
受取利息及び受取配当金	△204	△198
為替差損益 (△は益)	△682	△41
株式交付費	333	156
投資事業組合運用損益 (△は益)	9,340	△662
新株予約権戻入益	—	△28,270
固定資産除却損	454	—
売上債権の増減額 (△は増加)	95,858	△89,215
たな卸資産の増減額 (△は増加)	100,539	13,264
仕入債務の増減額 (△は減少)	△63,520	41,374
その他	43,083	△47,913
小計	269,842	△5,791
利息及び配当金の受取額	28	19
法人税等の支払額	△7,921	△21,418
法人税等の還付額	407	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	262,357	△27,189
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,427	△9,432
無形固定資産の取得による支出	△13,159	△13,666
投資有価証券の取得による支出	△2	—
出資金の分配による収入	1,347	3,588
資産除去債務の履行による支出	△4,100	—
敷金及び保証金の回収による収入	30,232	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,108	△19,510
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	28,298	14,563
自己株式の処分による収入	2,847	—
配当金の支払額	△43,340	△43,976
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,193	△29,412
現金及び現金同等物に係る換算差額	△339	86
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	234,715	△76,026
現金及び現金同等物の期首残高	1,710,222	2,156,840
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,944,938	2,080,813

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社において、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	I o T事業	製造受託事業	開発受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	367,747	460,516	331,183	1,159,447	—	1,159,447
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	367,747	460,516	331,183	1,159,447	—	1,159,447
セグメント利益	73,006	65,783	45,320	184,110	△103,102	81,008

(注)1. セグメント利益の調整額△103,102千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△103,102千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	I o T事業	製造受託事業	開発受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	311,776	475,186	278,828	1,065,792	—	1,065,792
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	311,776	475,186	278,828	1,065,792	—	1,065,792
セグメント利益	40,536	65,344	30,282	136,163	△79,598	56,565

(注)1. セグメント利益の調整額△79,598千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△79,598千円であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。